

令和5年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

立川市立立川第六中学校

令和5年度 学校における自己評価

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が地域について新たな発見をする機会となっている。 ・地域の課題を挙げ、将来への発展について考察することができている。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの学習のつながりを提示すること ・地域人材の活用を積極的にしていくこと

令和5年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
50.8%	36.6%	6.5%	1.9%	4.2%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
21.3%	43.8%	1.1%	0%	33.7%